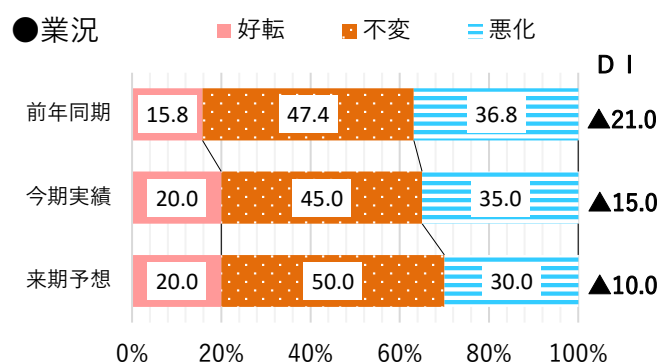


卸 売 業

業況、売上、採算

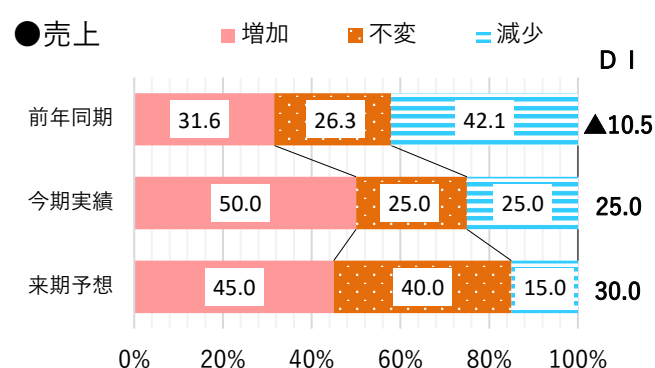
今期(2022.7～9)の業況判断DIは▲15.0で、前年同期(2021.7～9)と比べ6.0ポイント上昇しました。

来期(2022.10～12)は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



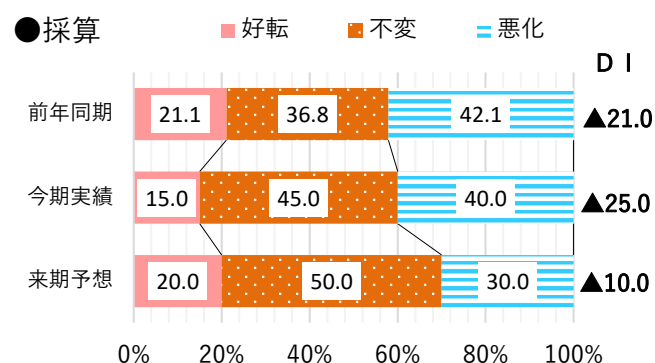
今期の売上DIは25.0で、前年同期と比べ35.5ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、売上の増加傾向が続くと予想しています。

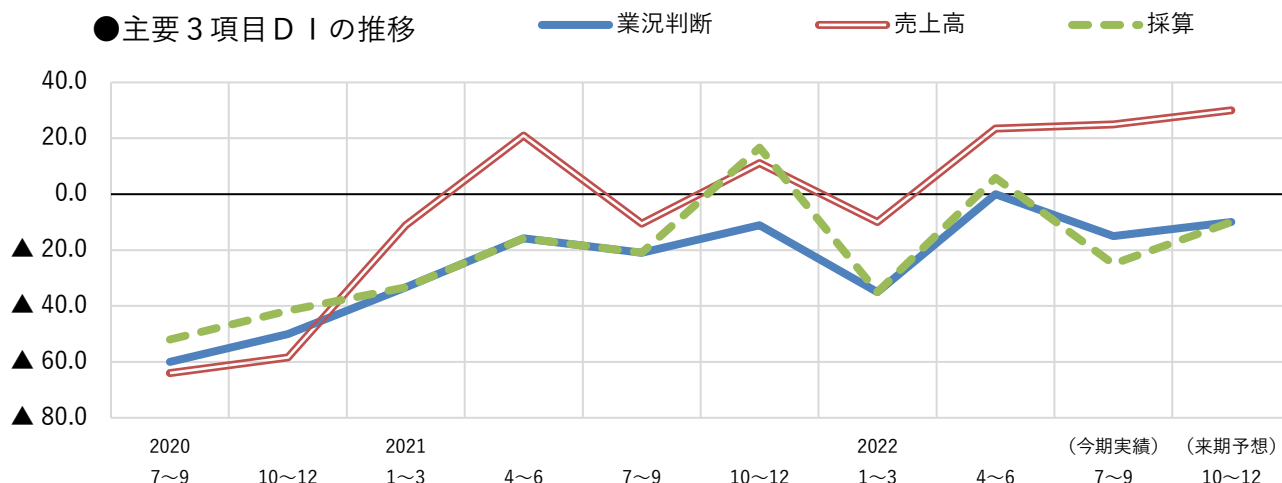


今期の採算DIは▲25.0で、前年同期と比べ4.0ポイント低下しました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



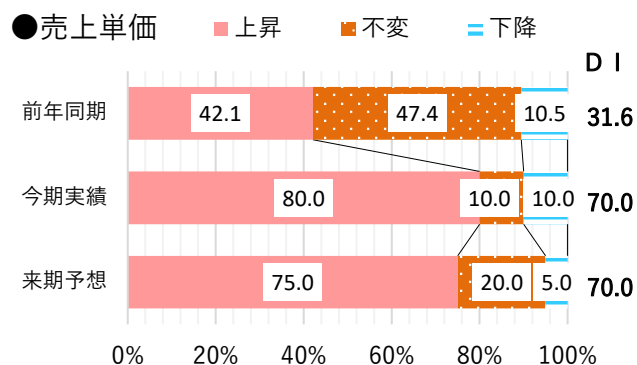
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

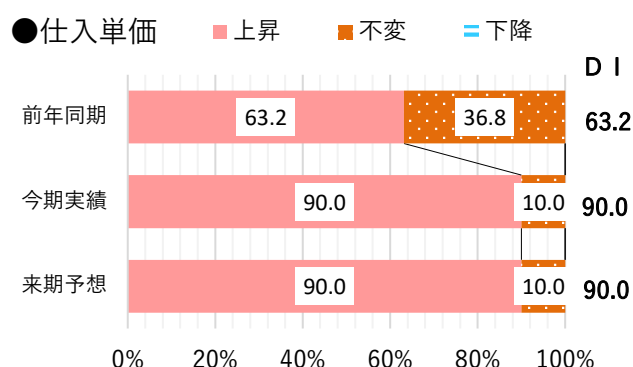
今期の売上単価DIは70.0で、前年同期と比べ38.4ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上単価の横ばいを予想しています。



今期の仕入単価DIは90.0で、前年同期と比べ26.8ポイント上昇しました。

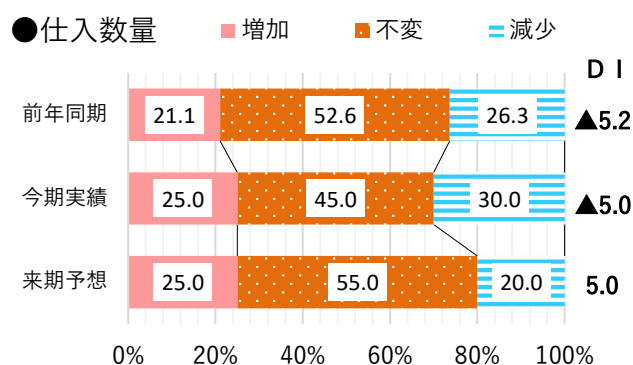
来期は、仕入単価の横ばいを予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

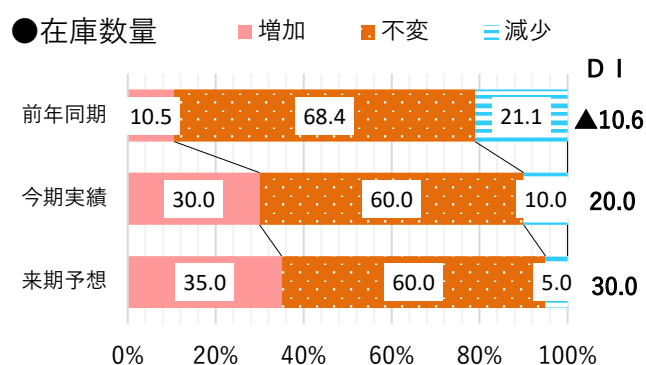
今期の仕入数量DIは▲5.0で、前年同期と比べ0.2ポイント上昇しました。

来期は、仕入数量がプラスに転じると予想しています。



今期の在庫数量DIは20.0で、前年同期と比べ30.6ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

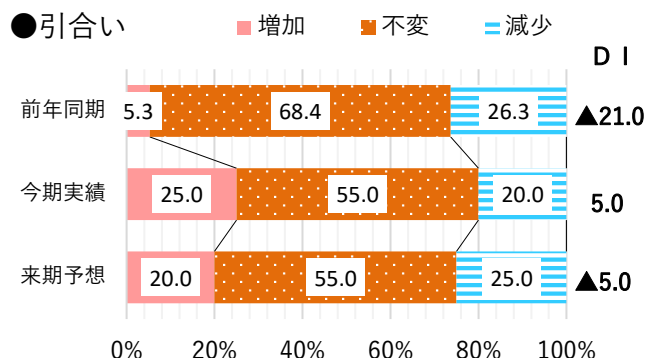
来期は、在庫数量の増加傾向が強まると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは5.0で、前年同期と比べ26.0ポイント上昇し、プラスに転じました。

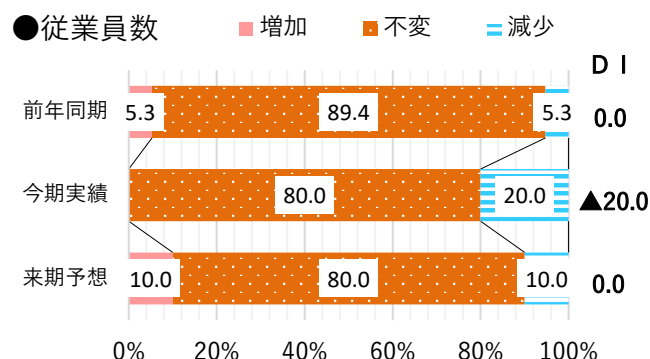
来期は、引合いがマイナスに転じると予想しています。



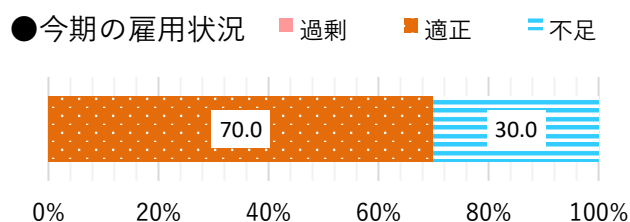
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲20.0で、前年同期と比べ20.0ポイント低下しました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は70.0%、不足していると回答した企業の割合は30.0%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の65.0%を占めています。

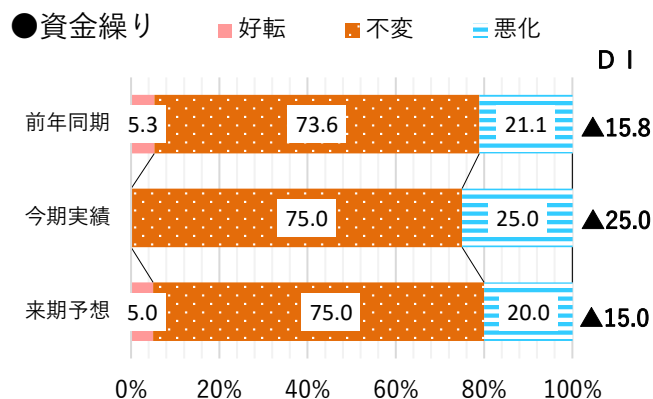
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」、「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」（同位）という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	13
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	3

資金繰り、設備投資

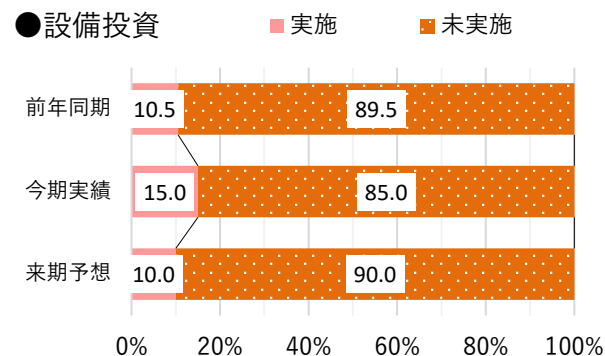
今期の資金繰りDIは▲25.0で、前年同期と比べ9.2ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



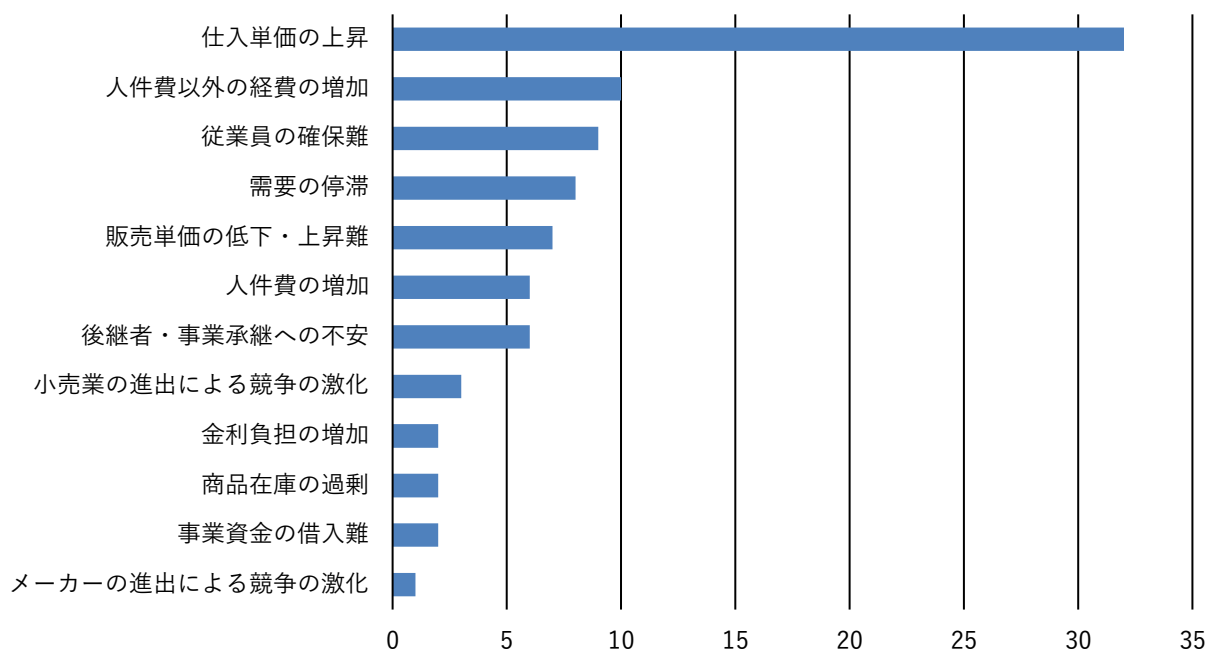
設備投資を実施した企業の割合は15.0%で、前年同期と比べ4.5%増加しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「付帯施設」でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は10.0%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「従業員の確保難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 原油価格が高止まりのため売上は増加したが、採算は悪化した。買い控えも起きている。（石油卸売）
- 仕入価格が上昇したが、価格転嫁がうまく進んでいない。（建築材料卸売）
- ディーラーから購入していた部品の割引率が低下し、苦勞している。（自動車部品卸売）
- 販売単価の上昇に比例もしくはそれ以上に販売数量が減少した。（鉱物・金属材料卸売）
- 売上は前年同期比で2倍に増加した。仕入価格は全体的に上昇傾向にある。（食料・飲料卸売）
- 仕入単価上昇のため、業況は悪化した。（食料・飲料卸売）
- 仕入価格が上昇傾向にある。（事務用品卸売）
- メーカーの販売価格の値上げが止まらない。（包装資材卸売）
- 値上げが相次ぎ売上額は増加した。利益率が追いつくように頑張っている。（塗料卸売）

[来期の業況について]

- 原油価格は今期並みだと思われる。業況は引き続き悪化を見込む。（石油卸売）
- 引き続き仕入価格の上昇を予想する。（建築材料卸売）
- 仕入価格や部品の生産状況の見通しが立たない。（自動車部品卸売）
- 仕入単価の上昇が予想される。苦戦は避けられないと思う。（鉱物・金属材料卸売）
- 引き続き好調を見込む。人材確保に努める。（食料・飲料卸売）
- 仕入価格の上昇に合わせ、販売価格をどこまで引き上げられるかに左右される。（事務用品）
- メーカーの値上げが続くと予想する。（包装資材）
- 10月上旬まで値上げが予想される、うまく価格転嫁したい。（塗料販売）